

美しいひとは、大人。

【グレイシア】

# Gracia

December  
2010  
No.177

12

Xmasの  
お楽しみつき!  
コフレを買って  
おうちに  
帰ろう

特集

## 恋によく効く 田辺聖子

中島京子・長島有里枝・笑福亭鶴瓶

松嶋菜々子

浅野忠信  
生方ななえ

知りたい!  
今年のタイト・バランス  
ざっくりニットで冬支度

人生のペースを変える  
郊外に住む、という選択

これさえあればプロの味  
太鼓判! 調味料図鑑

これが最後(?)のチャンス  
イケメン講師に語学入門

水野美紀さんも思い切って  
髪型を変えてみたら

ファッション特集

さじ加減は「いつもの2割増し」

# ちよつと"よそゆき"で 出かけよう!

## case 2. 千葉・一宮 K邸

奥社にも勤めの旦那さんと奥さん、3歳の女の子、8歳のアキラくん（3人とも1匹家族、今まで食が細かったお子さんが、一家の家ではご飯をいっしょに食べてくれるようになったのも嬉しい変化という）。

### 海のそばの空間で 波を感じ、空を感じ、 風を感じる

「非実用性がくれた  
とにかく気持ちいい」空間

東京からの特任が増え、新たな住まいができてしまった千葉・一宮、O.P.R.E.Aの馬場正博氏が「場を作らず緩やかに土地を共有する」というコンセプトでプロデュースした分譲エリアに新居を建てたK家も、今年その新しいコミュニティの一員になったばかり。

「海のそばに住みたい」とずっと思っていたという二人が、旦那さんの趣味であるサーフィンのため一宮にアパートを借りたのは3年前のこと。特急わかしおで東京から1時間という便利な立地や海のきれいに魅せられ、週末ここに遊ぶように、やがて、さまざまな人のつながりを経て馬場さんと出合い、この波の音が

聞こえるこの土地に出会い、ここに家を建てることを決めた。

「とにかく気持ちいい！それに尽きますね。ここから見える夕焼けも、夜ライトアップした板の木の眺めも、海風、風の音も波の音も心地いい。夕方に近とシラサギがやってくる、家で子供とカメラを見つけて盛りあがったり、新鮮な驚きだらけです」

新居のインスピレーションは、7年間仕事で駐在していたマレーシアでの体験から。大好きなアジアのホテルをイメージし、ホテルの写真集なども参考にしたり、住居というよりホテルを意識して作った「とにかく気持ちいい」家は、あえて生活感を排除した結果でもある。

「普通なら、キッチンやお風呂など生活に重要なところの実用性にもこだわりたいですよね。でもここは元々土地の光気

感を重視して作ったので、気持ちよさを優先していいんです。便利さは都会にあればいいから、ここにはほらない。すべてこつぱらってしまおう気持です。でもここが良かったら、その気持は出なかつたと思います」

そんな言葉の話を聞いて思う。もしかしたら私には、生活するのに便利であるということにとらわれず、日々の「気持ちいい」を自らの手で造りだしてしまっているのかもしれない。

その土地の空気感を大切に、心地よい時間の中で、心も体も喜ぶための「気持ちよさ」を発見したKファミリー。（今後、仕事場のある東京と住まう場所である千葉という2つの拠点に、どういうバランスで暮らしていくかは、ゆっくりにとした時間の流れるこの場所ので、感じなければと思っています」



1吹き抜けの2階からリビングを見下ろす。2「海辺での散歩、乗馬、暑がりなど本当に楽しいことが盛りだくさんで、家族の時間も増えました」3海まで300m。サーフィンも心ゆくまで楽しめる環境に合わせて、砂を落とせるシャワーを列に設置。墨色の壁が美しい。4ボードを置き、ウェットスーツを脱いで、そのままバスルームへ直行。海風が吹き抜けるデッキは家族みんなの大好きな場所。ハンモックやカエルの置物、木の置付けなど、インテリアはほとんどマレーシアから持ち帰ったもの。旦那さんが出張の間に買った木の横っこのオブジェはドアの取っ手に。6テラスで食事したり夜更を觀賞したりする際の場。アタリく空気の松の木はこのエリアのシンボル。右真上白壁のオープンキッチンとシックな床材。家具のコントラストが映える。